

若者からの意見収集について

2024年に実施した「浜松市若年層アンケート調査」及び市内6大学の「市内在住大学生との意見交換」から、人口減少に関連が深い項目について若者の意見の概要をまとめた。

1 実施概要

(1) 浜松市若年層アンケート調査（参考資料1）

目的：若年層の市政に対する関心・ニーズなどを把握し、今後の市政運営の参考とするとともに、市政への関心を深めてもらうきっかけとする。（広聴広報課実施）

対象：満15歳～24歳の市民 3,000人（無作為抽出）

期間：2024年7月29日（月）～8月26日（月）

方法：調査票郵送法（調査票返送またはWeb回答）

回答状況：回答数：1,021件（郵送350件 Web671件）

回答率：34%

調査結果の公開：浜松市公式ホームページへ12月中旬頃公開予定

(2) 市内在住大学生との意見交換（参考資料2）

目的：市内居住の大学生から東京一極集中や地域への愛着、少子化など、人口減少に関する若者の意識について率直な意見を収集する。（企画課実施）

対象：市内6大学に通う学生（浜松市在住）

期間：2024年8月23日（金）～9月17日（火）のうち大学ごとに実施

方法：対面

参加人数：39名

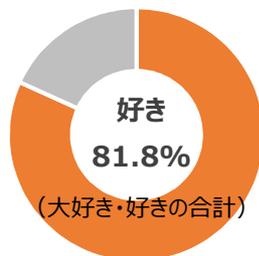
2 主な意見

浜松への愛着について

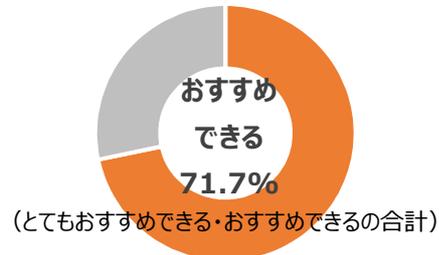
- ✓ 浜松市への愛着は強く、他者に対してもおすすめできると感じている。
（「好き」が81.8%、「おすすめできる」が71.7%）
- ✓ 都市としてのバランスの良さ、人間関係、豊かな自然環境に魅力を感じている。

【浜松市若年層アンケート調査】

浜松のことが好きですか



浜松を誰かに、どの程度すすめたいと思いますか



【市内在住大学生の意見】

■ 居住場所として選んだ理由や浜松市の良いところ

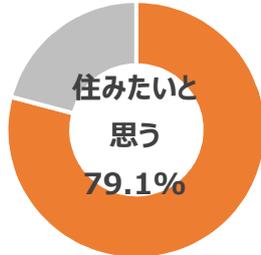
- ・ 田舎すぎず、都会すぎずバランスが良く、住みやすい環境である。
- ・ 人間関係や地域の中でコミュニティが築けており、維持したい。
- ・ 自然環境に恵まれており、暮らしやすく、豊かな自然に触れ合うことができる。

浜松への居住について

- ✓ 住み慣れていることや、愛着があり、これからも浜松市に住みたいと感じている。
（「住みたいと思う」が79.1%）
- ✓ しかし、交通の便、仕事、遊ぶ場所など、浜松では感じにくい都会ならではの豊富な選択肢への希望やあこがれが強いと、浜松市以外を居住地域として選択する。

【浜松市若年層アンケート調査】

これからも浜松に住みたいと思いますか



【住みたいと思う理由 TOP3】

- ①住み慣れているから
- ②浜松に愛着があるから
- ③家族の近くで暮らしたいから

【住みたいと思わない理由 TOP3】

- ①都会に住みたいから
- ②希望する就職先がないから
- ③休日などに遊ぶ場所が充実していないから

【市内在住大学生の意見】

■住み続けるために必要だと思うことや市の問題点

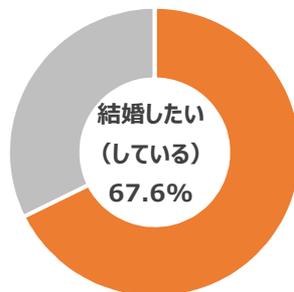
- ・市内の交通の便が悪く、移動がしづらい。
- ・自分の能力や大学で学んだことが活かせる仕事や環境。
- ・大学進学時に、市内に幅広い選択肢。

結婚について

- ✓ 結婚の意向を持っている若者は多い。
（「すでに結婚している」や「いずれは結婚したい」が67.6%）
- ✓ 仕事や収入によって左右され、また、仕事の希望を含む自己実現について、ハードルだと捉えている。

【浜松市若年層アンケート調査】

自身の結婚について、どのように考えていますか



【人数の内訳】

すでに結婚している	2.6%
いずれは結婚したい	65.0%
結婚するつもりはない	9.4%

【市内在住大学生の意見】

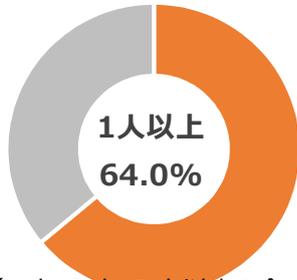
■結婚についての考え方

- ・家庭についての印象や考えによって結婚希望に影響がある。
- ・仕事や収入によって結婚の希望は、左右される。
- ・自己実現にとって、リスクやネガティブな要素だと考えている。

こどもについて

- ✓ こどもを持つ意向を持っている若者は多い。
(考えている子供の人数は「1人以上」が64.0%)
- ✓ 安心して産み育てられる環境を含めて、こどもを持つことへの不安がある。

【浜松市若年層アンケート調査】 考えている子供の人数は何人ですか



(1人・2人・3人以上の合計)

【人数の内訳】

0人(子供を望まない)	12.1%
1人	8.2%
2人	45.1%
3人以上	10.7%

【市内在住大学生の意見】

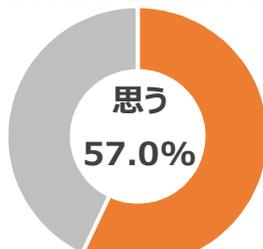
■こどもを持つことについての考え方

- ・こどもを持つことの責任の大きさやこどもの将来を心配している。
- ・こども安心して産み、育てるための環境整備が必要である。

仕事について

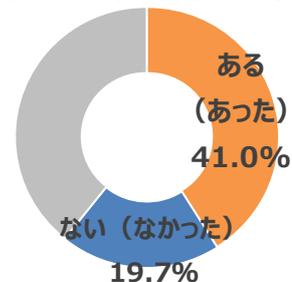
- ✓ 半数以上が浜松で働きたいと思っているが、希望就職先が不足していると感じている。
(「働きたいと思う」は57.0%、「希望する就職先がある」は41.0%)
- ✓ 自身が働きたいと思う就職先がないことで、若者が東京圏に流出してしまう。

【浜松市若年層アンケート調査】 浜松で働きたいと思えますか



(思う・どちらかといえば思うの合計)

希望する就職先は浜松にあります(ありました)か



希望する(希望していた)業種(上位5件)

項目	回答数(件)	割合(%)
医療・福祉	213	20.9
製造業	168	16.5
分からない	162	15.9
教育、学習支援業	130	12.7
公務	111	10.9

希望する(希望していた)職種(上位5件)

項目	回答数(件)	割合(%)
技術職	233	22.8
介護、福祉、医療、看護	199	19.5
事務、管理職※	172	16.8
専門職	148	14.5
分からない	144	14.1

※管理職とは、管理系の職種を指す。

【市内在住大学生の意見】

■若者が東京圏に行き、戻ってこない理由

- ・自身がやりたい仕事や魅力的な企業が東京圏にある。
- ・都会へのあこがれ、情報量や経験できることが豊富であるから。

まとめ

➤ 少子化に関して

自身の結婚について、「いずれは結婚したい」と回答した人が 65.0%あることや、考えているこどもの人数を「1人以上」と回答した人が 64.0%であることから、結婚や子どもを持つ意向を持つ若者は一定数いる。

しかし、意見交換では、結婚や出産、子育てに関して金銭的・時間的・精神的な余裕がないといった意見や、保育環境や金銭的なサポート体制の充実などを希望する意見もあることから、切れ目のない支援により不安が解消され、結婚、出産の希望がかなう環境の整備が重要と考えられる。

➤ 東京圏への流出について

浜松に通いたいと思える大学や専門学校が「ない」と回答した人は 48.4%で、「ある」と回答した人 33.4%に対し 15 ポイント上回っていることから、進学に伴い市外に転出する状況が生じていると推察される。

希望する就職先が浜松に「ない」と回答した人が 19.7%いることから、市外での就職を選択する若者が一定数いると考えられる。

また、意見交換では、やりたい事が見つからない人が、何か見つかるのかもしれないと期待して情報量や人との出会いの機会が多い東京圏へ行くのではないかとの意見があった。

これらのことから、就職に関する情報の発信を強化するなど、若者が働きたいと思える仕事を見つけることができる機会を増やすことが重要である。

➤ 浜松への愛着について

浜松のことが「大好き・好き」と回答した人は 81.8%いることや、人間関係や地域のコミュニティを維持したいという意見があるなど、浜松に愛着をもつ若者が一定数いると考えられる。

また、これからも浜松に住みたいと「思う」と回答した人が 79.1%で、その理由の上位 3 位は、「住み慣れているから」「浜松に愛着があるから」「家族の近くで暮らしたいから」となっている。

一方で、浜松に住みたいと「思わない」と回答した人の理由の上位 3 位は、「都会に住みたいから」「希望する就職先がないから」「休日などに遊ぶ場所が充実していないから」となっている。

浜松を将来の居住地の候補として考えてもらうためには、地域への愛着が重要な要素であり、若者が浜松ならではの魅力に気づき発見する機会を設けることで、さらなる愛着の醸成を図っていく必要がある。